

### 第III章. 将来像と都市構造

---



### III-1. 中原区の将来像

#### 1. 将来像の考え方

—今の中原が好きです—

- ・今の中原区は、
  - 「住むところ」があり
  - 「働くところ」があり
  - 「学ぶところ」があり
  - 「遊ぶところ」があり
  - 「憩うところ」がそろっている区です。
- ・そのような中原区は、誰もが好きな区です。

—でももっと良くなったらいいな—

- ・今の中原区も好きだけれど、20年後の中原区はもっと良くなったらいいなと考えます。
- ・そのために、
  - 1) 20年後も「住むところ」「働くところ」「学ぶところ」「遊ぶところ」「憩うところ」がそろっている現在のかたち（構造）を大きく変えずに。
  - 2) 緑・花・水・笑顔でいっぱいの区にしたい。

—中原区の将来像を表すキャッチフレーズは—

- ・20年後も中原区の基本的なまちの構造を大きく変えずに、『中原区区づくり白書』を踏まえ、

**もっとすてきにながはら**

とします。

## 2. まちのイメージと基本的な“柱”

ー将来像“もっとすてきになかはら”を具体的に表す「まちのイメージ」ー

- ・将来像“もっとすてきになかはら”を具体的に表すと、自然と人がまちのなかでいとなみ、相互に共生し、交流しているまちがイメージされます。

《まちのイメージ》

**“自然”と“人”と“いとなみ”が“共生と交流”**

しているまち

ーイメージされたまちの「基本的な柱」ー

- ・自然と人がまちのなかでいとなみ、相互に共生し、交流しているまちは、次の7本の柱で支えられています。

### ○水と緑を結ぶ回廊のあるまち

- ・緑・花・水をネットワークする回廊があり、そこには、自然があり、いろいろな生き物が生息しています。そして、いつでも、どこでも、「うるおい」「やすらぎ」を感じることができるまちです。

### ○歴史・文化の活かされたまち

- ・歴史的資源や文化的資源を区の財産として、区民みんなで守り、育み、これらが区民の暮らしに活かされているまちです。

### ○平和で安全・安心・快適なまち

- ・誰もが平和で安全に安心して快適な生活を送れるように、公園や道路などが適切に配置され、災害に対しても強いまちです。

### ○商業・産業が充実したまち

- ・小杉を中心として魅力ある商業が営まれるとともに、工場、研究開発機能や農地といった働く場所と、住む場所が調和・共存したまちです。

### ○文化・情報・経済交流のあるまち

- ・市の中央部にあり交流地点であるとともに、首都圏の文化・情報・経済の交流地点として、人々が集い、交流するまちです。

### ○みんなのやさしい笑顔があるまち

- ・障害者や高齢者等にやさしく、思いやりがあふれ、まちにも心にもバリアがない、誰にとっても暮らしやすいまちです。

### ○住み続けたいふるさとのまち

- ・中原区に住んでよかった、住み続けたいと感じられるふるさととして、子どもと大人が思い出をたくさんつくりることができるまちです。

#### ■まちのイメージと基本的な柱



## III-2. 中原区の都市構造

- ・中原区の都市構造を“まちの拠点”“産業と共生するエリア”“共生・交流のためのネットワーク軸”の視点から整理すると次のようになります。

### 1. まちの拠点

- ・まちの拠点は、「都市機能・生活拠点」「生活・文化拠点」「緑の拠点」に整理できます。

#### 【都市機能・生活拠点(第3都心)】

- ・“都市機能・生活拠点”は、商業、業務、文化、遊びなどの複合的機能が集積し、また、地域住民の生活のための機能を合わせた中原区の中核となり、川崎市の都心のひとつを担う賑わいのあるまちをめざします。

◇小杉駅周辺地域

#### 【生活・文化拠点】

- ・“生活・文化拠点”は、地域住民の生活に密着した生活利便性の高いまちであるとともに、地域の文化にふれることができるまちをめざします。

◇新城駅周辺地域

◇向河原駅周辺地域

◇中原駅周辺地域

◇平間駅周辺地域

◇新丸子駅周辺地域

◇元住吉駅周辺地域

#### 【緑の拠点】

- ・“緑の拠点”は、いろいろな生き物が住み、市民の憩いの場としての機能や災害時の避難場所、延焼遮断帯などの機能を担うことをめざします。

◇等々力緑地

◇平間公園

◇中原平和公園

◇井田山



## 2. 産業と共生するエリア

・産業と共生するエリアは、「工業との共生」「農業との共生」に整理できます。

### 【工業との共生】

・主に工業、研究開発機能の集積を図りつつ良好な住環境をめざします。

- ◇宮内地区
- ◇富士通川崎工場周辺
- ◇東急車輛等周辺
- ◇NEC周辺
- ◇三菱自動車工場周辺

### 【農業との共生】

・良好な農業環境と良好な住環境の調和をめざします。

- ◇下小田中を中心とした農地群

■産業と共生するエリア



## 3. 共生・交流のためのネットワーク軸

・共生・交流のためのネットワーク軸は、「交流を支える軸」「歴史・文化軸」「水と緑の回廊」に整理できます。

### 【交流を支える軸】

・交流を支える軸は、区内を縦横無尽に縫い、他区や他都市と中原区を結び、文化、情報、経済の交流を活発にします。

- ◇川崎市を縦断する軸：  
（道路）府中街道（鹿島田管線）、南武沿線道路（小杉管線・川崎駅丸子線）、尻手黒川道路  
（鉄道）JR南武線

- ◇川崎市を横断する軸：〈道路〉宮内新横浜線、中原街道、綱島街道（東京丸子横浜線）、ガス橋通り（大田神奈川線）  
 〈鉄道〉東急東横・目黒線

**【歴史・文化軸】**

・歴史・文化軸を中心に、歴史と文化にふれられるまちをめざします。

- ◇中原街道

**【水と緑の回廊】**

・水と緑の回廊は、“まちの拠点”や“産業と共生するエリア”を一体となって取り込み、まちに潤いをあたえるものとなることをめざします。

- ◇多摩川・多摩川緑地    ◇二ヶ領用水水路網    ◇渋川    ◇江川  
 ◇矢上川    ◇緑道等

■水と緑の回廊

